



懇談を深めながら

一年間の無事を祈る

昔から災難が多いといわれる節目に厄払いをする風習があり、男性は62歳と42歳、女性は33歳になる人たちが、2月1日に神社で祈願する風景が見られました。坊沢地区では、合同で祈願祭を行ったあと公民館で懇親会が開かれました。女性は、丸まげに留袖という艶やかな姿で出席。久しぶりに顔を合せる同級生も多かったのか、賑やかに懇談を深めながら一年間の無事を祈っていました。

人口と世帯数

(住民基本台帳による)

1月31日現在		(前年比)
総人口	25,171人	(4人減)
出生	23人	転入 38人
死亡	19人	転出 46人
男	12,233人	(14人減)
女	12,938人	(10人増)
世帯数	7,289世帯	(6世帯減)



鷹巣阿仁広域圏でシンポジウム

豊かな自然と恵まれた資源を背景に、鷹巣阿仁地域の開発が求められています。広域市町村圏組合では、一月二十一日午後一時から、鷹巣市中央公民館で、ゆとりある開かれた定住社会の実現をめざしてシンポジウムが開かれ約八百人が参加しました。基調講演、パネルディスカッションでは、県北の高速交通体系の整備が、急務であると強調されました。要旨は次のとおりです。

基調講演

「空港整備の現状について」 航空貨物輸送で第一次産業も変ってくる

運輸省近畿運輸局長・井上 春夫



九州では生シイタケを送っているし、生鮮食料品では市場性の高いものであれば、運賃の割はカバーできるものである。九州は先端産業が盛んであるが、農業、漁業などの第一次産業も変ってきている。

パネルディスカッション

鷹巣を中心都市に 将来は大野台開発



建設省街路課長
依田 和夫

国内線の年間利用者は約四千万人で、国民三人に一人が利用していることになる。また高速自動車道の開通にともない五百*くらいの中距離では、飛行機利用者が減少しているが、七百*から千*の長距離では航空が圧倒的な強みを発揮している。旅客とともに貨物輸送が近年増えている。飛行機の上半分は座席だが、下半分は貨物室。YS11(六十四人乗り)は約一トだが、ジャンボ機になると二、三〇トも積める。飛行機は旅客だけでなく貨物も満杯にしないとウマ味がないのである。貨物の運賃は高いと思われるが、大分空港ではIC(集積回路)工場から二ト積みみのコンテナ十一個を積むと、三億円製品の運賃が三十万円。千円の製品の運賃が一円で、キロ当

最も大切なのは高速交通体系の整備充実ではないかと思う。都市開発で重要な交通条件は高速型と在来型の二つがあり、一方がダメになっても他を使える代替性が必要とされている。構想としては日本海縦貫高速

道路があるようだが、羽越方向のルートを秋田基点に、能代、鷹巣、大館経由で東北自動車道と結ぶルートが実現すると、秋田岩手環状高速道路となる。

よく縦貫は利用が多く横断は少ないといわれるが、地元の熱意と受け入れ体制の条件と採算ベースを考えると、いかに安く売上ができ、技術的にも工事単価が安いのである。

また、秋田、花巻空港、盛岡までの在来線は、鉄道、東北縦貫や河北林道などがあり、時間の短縮を考えれば秋田市と条件は同じである。

これからは地方の時代であり土地固有の文化、伝統的な産業を生かし県外流出を防ぐことだ。生活するためには、都市的な感覚を望むので、鷹巣を中心都市にした大野台の開発が、将来の重要なポイントとなるであろう。

交通体系の整備は 工場立地に重要な



仙台通産局商工部次長
岡田 利一

東北地方の企業誘致は、五十

九年が八十一件で史上第二位だ。そのうち秋田県は十二件。業種別では、機械工業が圧倒的に多く五十五件で電気機械が三十九件、一般機械が十二件。次いで化学が七件。

東北は技術先端型が急増しており、アメリカ、フランスなどの外資系企業も多い。先端型はホコリを嫌うので、雪の深いところでも立地が多いようだ。

交通体系の整備は工場立地に重要な役割を果たしている。山形県東根団地は臨空団地といわれ、大分県と同様、ICなどに好評で近く満杯になるという。

農産物も飛行機で輸送される時代に



県議会議員

北林 照助

北秋田地方が発展するためには、空港の建設よりないと思う。仮に空港ができないうとどうなるであろうか。鉄道は東北新幹線の上野乗り入れで在来線は不便になる。また日本海縦貫道のメドも立っていない。県北は「陸の孤島」ともいえる。そのため

にも県北の中心地・大野台に空港をつくるのが最適だ。

自動車で一時間の範囲が空港の利用可能な区域だ。大野台を中心にとすると、鹿角、能代、五城目まで入り、人口は三十万人近い。北海道女満別空港は二十八万人の圏域人口でジェット機を飛ばそうとしている。また農産物も飛行機で輸送させる時代となった。

農業にも企業化の意識革命が必要だ



鷹巣町長

出川 禮一

大野台開発は地域振興のすべてではなく一部である。大野台は合川、鷹巣、森吉の三町にまたがる五千畝。そのうち半分が平坦で、農業、工業用地、スポーツ福祉の開発を進めてきた。大野台の土地所有状況は八五%が私有地。国・県などの公有地は工業団地、農業大学園が大部分。農地は草地を含めて二三%程度。ほかは林地である。したがって土地の高度利用が大野台の振興につながると思う。

次に交通体系では、かなり整備されているが、鷹角線はどうすれば未開通区間の開通が促進できるか。東北自動車道は六十年で東京・青森間が全線開通になるが、連絡道の整備を急ぐ必要がある。それから飛行場の問題など、多面的に交通体系の整備、なかなか高速度というものを考えなければならぬ。

もう一つは、土地の流動化がきわめて遅い地域ということ。交通体系のすべてが私有地の買収によって成り立っているので、事業の遅延になりかねない。

また、企業誘致と地元企業の育成拡大で、地元の労力と資本が大胆に取り組むことが前進への道と思う。農業も企業化の意識革命をする必要がある。

恵まれた自然や人情をどう生かすか



秋田魁新報社

論説委員 前川 浄之

鷹巣阿仁地域は、いろんな構想や計画はあるが、動きの少ない地域のような。例えば、人口密度は郡内が全県最下位で、こ

の地方はさらに低く、人口は減る一方である。産業はかつての木材、鉱山は衰退。誘致企業は縫製が多く、地域の核がない。しかし資源はいくらでもある。汚れた大きな自然、細やかな人情、素朴な人情。森吉山、大野台、マタギの里、鷹角線の全線開通など厳しい条件ではあるが、それをどう生かすかが問題なのではないか。

昭和十四年に師範学校でまとめた『秋田県総合郷土見聞』では、「鷹巣阿仁部の人情は、温和で意欲がなく粘りが足りない。新時代を生き抜く行動力に乏しい。住民の主職業は農業で不安定な米作りに生命をささげ、杉の美林、鉱物資源からは賃金を受けるのみで、自然と資本に依存している。積雪期間の労働利用が不十分。会合は娯楽的色彩が強く飲酒が多い。社会的訓練が少ない。さらに豊富な資源は国あるいは大資本家の所有のため、住民の所得は少ないが近年生産的支出がすごい。仙北郡田沢や角館と連絡される日も遠くはない。今後は郷土の自然性を理解し、利用開発と新聞界の合理的適合力、社会訓練と熱意を養成すべき」と述べられている。四十五年前の調査は現在に通ずる厳しい指摘でもある。社会的訓練「いま風にいえば、町村間の連携であろう」。

第6回 県民歩くスキーのつどい

◆主催……秋田県、県教育委員会、魁新報社、秋田フィンランド協会、大野台開発推進協議会 ◆日時……2月24日(日)午前9時50分まで集合 ◆会場 大野台ハイランド ◆参加賞……全員に記念品と完走証をさしあげます ◆申込み……2月16日正午まで 合川町公民館歩くスキーあて(☎(78)2114)

水田利用再編対策協議会

六〇年は四二七㊦を転作

転作田は団地化を促進しよう

国内の食糧を安定供給するため、転作の定着化が進められています。町では五十九年度から始まった三カ年計画の「水田利用再編第三期対策」により、四百四十七㊦の転作が配分されましたが、六十年度は調整配分として二十㊦を軽減することになり、四百二十七㊦の転作目標面積となりました。

米の過剰生産と、ほかの作物の需給不足を解消し、食糧の安定した供給をはかるため、五十九年度から「水田利用再編第三期対策」が始まりましたが、六十年度は二十㊦の調整（軽減）配分となり、計四百二十七㊦の転作面積が県から内示されました。

五十九年度の作況指数は、県北で「一一三」と大豊作でしたが、国内では臭素汚染や韓国米返還など、予期せぬ事態が発生したことから、六十年度に限って軽減措置がとられたものです。転作配分内訳は、昭和四十四年以前の水田は一四・〇七％、四十五年以降の拡張水田は三〇％となります。

このため町では、一月三十一日に水田利用再編対策協議会を

開き配分方法などを検討しました。その結果、二月十八日までには各農協の協力をえて集落別仮配分会議を開催。ただちに集落ごとの話し合いを進めることとなります。

60年の限度数量は
一九万五二一〇㊦

六十年産米の限度数量は十九万五千二百二十㊦（六〇・*入れ）となり、内訳はうるち米十九万三千八百八十一㊦、もち米千九百三十九㊦となっております。

このほか、ミソや醤油などの原料となる他用途利用米生産予定数料は四千七十㊦（六〇・*入れ）となり、換算面積四十三㊦が、稲の作付け面積（転作配分に含まれる）として加算されます。

各農協ごとの転作目標仮配分面積は次のとおりです。

▽栄農協〓四一・六㊦▽鷹巣農協〓十九・二九㊦▽西部農協〓八十一・〇九㊦▽沢口農協〓九十・九三㊦▽綴子農協〓百九・

四九㊦▽七日市農協〓八十四・六㊦
捨て作りを解消しよう

五十九年の転作面積は四百六十九㊦（目標四四七㊦）で、達成率一〇五％でした。また転作物物は、大豆、飼料作物、麦などの「特定作物」が六六・五％、野菜などの「一般作物」が三三・五％となっております。

同協議会では、これらの定着をはかるため▽転作田の団地化の促進と大型化で生産の向上▽需要の動向に応じた生産量の確保▽大豆は反収二百*以上▽捨て作り解消▽農地の基盤整備で田畑転用をはかる。……など協議されました。

農家の届出は3月15日

これまでに、協議会のほか二月五日に各農協の担当職員による幹事会が行われ、現在農協単位に集落別仮配分会議が開かれております。

このあと集落ごとの話し合いで、団地化や畜産複合転作をにつめ、三月十五日まで集落で取りまとめすることになります。

同時に、水田耕作面積に移動がある場合は、必ず届け出をしてもらわないと、各農家の配分面積が違ってきます。

このような手順を経て、四月五日に転作等目標面積の正式配分が決定することになります。

交通安全運動にあなたも参加を

2月6日の朝、今泉地内で路面凍結により大型保冷車と定期バスが衝突。1人が死亡し多数負傷するという事故が発生しました。雪や凍結に備えたタイヤの安全着装、スピードをひかえめに、シートベルトを着用して運転してください。また、町民のみなさんは事故のもとになる道路への雪出しは絶対やめてください。

鷹中女子が三連勝

近藤さんは全国大会五^きで二位

女子大回転では小塚敦子さんが優勝、回転で三沢真子さんが二位になるなど四人が入賞。また、距離では二年生の近藤真析子さんが二位。男子大回転では南中学校の花田智人くんが三位となりました。

で五位になったほか、女子リレーで秋田県代表に選ばれた二走者として出場しましたが、安定した滑走でトップにたち、東北大会優勝に大きく貢献。また、二月八日から北海道・旭川市で行われた全国大会でもリレー優勝五、でも悪天候を乗りこえて、県勢では最高の三位に入る大健闘。関係者からは早くも来年の活躍が期待されています。

全県大会の結果は次のとおり

【男子】 ▼距離(十*) ⑥
 松浦敦彦(鷹巢) ▼大回転
 ③花田智人(鷹巢南) ▼リレ
 ー(五*×四) ⑧鷹巢南(長
 岐修、千葉智、千葉隆人、相馬
 純) ◆総合⑩鷹巢南
 【女子】 ▼距離(五*) ②
 近藤真祈子(鷹巢) 18分51秒
 ▼回転②三沢真子(鷹巢) 1
 分15秒56 ⑥成田香織(鷹巢)
 ⑦小塚敦子(鷹巢) ▼大回転
 ①①小塚敦子(鷹巢) 47秒51
 ③長崎容子(鷹巢) 50秒18 ⑤
 三沢真子(鷹巢) ⑧成田江利
 子(鷹巢) ▼リレー(三*×
 三) ④鷹巢(伊藤裕美、近藤
 真祈子、柳谷美奈子) ⑧鷹巢
 南(花田隆子、千葉絵利子、鈴
 木三千代) ◆総合①鷹巢

■16日(水)〜18日(金) 東北農政局及び農林水産省、地元出身国会議員に對し、郡内の町村長や土地改良区理事長が、六十年年度の農地、農道整備等の予算確保について陳情した。同じく砂防協会東北支部の代表として、国土保全、災害防止の立場から、砂防事業の推進を建設省に陳情した。

■19日(土) 〓みんなで身近な健康と医療について考えようということから、大館市で「地域の医療を考える集い」が開催され出席の機会を得た。

ムが鷹巣町中央公民館で開催された。テーマは「鷹巣阿仁地域の開発を求めて」であり、パネリストとして建設省、運輸省、通産省から中堅職員が出席。圏域内外から約六百人もの熱心な方がたが参加して盛大に行われた。

――要望が多かった旧町内の協力委員の区域変更について、関係者多数の出席を得て打合せ会を行った。

■28日(月)―秋田県スポーツ振興審議会が秋田市で開かれ出席した。今回の議題は「体



町長日記

出川禮一

全県大会で入賞した七選手は、二月一日から岩手県田山・安比両スキー場で開かれた東北大会に出場。近藤真祈子さんは距離

全県大会の結果は次のとおり

木三千代)
◆ 総合Ⅱ①鷹巢

町・県民税申告相談日程表

月日	申告会場	申 告 相 談 時 間	
		午前 9 時～正午	午後 1 時～午後 4 時
18 月	今泉センター	今泉	
19 火	七日市基幹 集落センター	中畑、妹尾館、 品類、根木屋敷	岩脇、横瀬、吉野
20 水	//	本郷 1 組～ 3 組	本郷 4 組～ 6 組
21 木	前山会館	前山、黒沢	
22 金	北健康増進 センター	糠沢	
23 土	//	岩谷、二本杉、 大畑、向黒沢	
25 月	綴子基幹集 落センター	上町	昭和
26 火	//	下町	
27 水	//	大堤	前野団地
28 木	田中総合 センター	田中	新田中、南田中
3.1 金	緑ヶ丘担手 センター	蟹沢、佐助岱	緑ヶ丘

2月1日(日) 鷹巣体育館で
 八回目の新春恒例の全国実業
 団バレーボールリーグ鷹巣大
 会が開催された。女子の三洋
 電機対タイエーの試合では、
 ロス五輪で米国代表となった、
 主砲ハイマン、クロケットに
 モントリオール五輪の名セッ
 ター松田を擁する豪華メンバ
 ーのタイエーが、ストレート
 で三洋電機を破り、つめかけ
 た千二百人のバレーファンを
 楽しませてくれた。

育施設の現状と問題点についてであった。

2月27日(水) 北秋田郡町村会定期総会が開かれた。郡町村会(小坂町を含む)の昭和六十年年度重点事業、予算と、郡内の各種団体等に対する法令外補助金などについて審議、決定した。

3月30日(水) 〓 新年度の第一次予算査定を行った。南中学校建設や鷹巣貯木場の土地取得が予想されており、厳しいが効率的な編成に心がけたい。

おしらせ

NHK学園で通信
教育の受講生募集

NHK学園では、通信教育の生徒・受講生を募集しています。

▼高校普通科コース▶放送を利用して、働きながら高卒の資格をとりたい方

▼入学資格▶中学卒業、又は同等以上学力のある方 ▼受付期間▶三月一日～四月十五日

▼高校教養コース▶高校レベルの知識と教養を身につけたい方 ▼受講資格▶十五歳以上の方などなても ▼受付期間▶三

町村合併三〇周年のテーマ募集

町村合併記念にふさわしいテーマをお寄せください。

■テーマ申込み方法▶テーマ、住所、氏名、年齢、電話番号をお書きのうえ三月十日まで、鷹巣町花園町19番1号・鷹巣町総務課広報係へ。

月一日～四月三十日

▼社会通信講座▶リポートの添削が中心で、だれでも自宅にいながら都合のよい時間に学べる

▼講座▶書道、硬筆、楽しい母と子の書き方、俳句、短歌、古典、文章、絵画、囲碁、簿記、英語、ファミリー写真、数学、国語の十五講座四十四コース

▼受講資格▶どなたでも ▼受付期間▶二月一日～四月二十日

※案内書ご希望の方はNHK秋田放送局（秋田市山王一丁目）へハガキで請求してください。

秋田県特産品の
開発コンクール

秋田県の新しい特産品の開発と、拡大を図るとともに、商品デザインに対する県民の理解と認識を深めるため、開発コンクールを開催いたします。

募集要領は次のとおりです。

▼種別▶観光土産品（人形・玩具・装飾品） 工芸品（家具を除く木竹工芸品・織物） 菓子食料品（酒類を含む） 陶器・

パッケージ・デザイン

▼条件▶応募作品は、応募者自身の創造品に限ります（応募資格は個人、企業及びグループを問いません）

▼募集期間▶二月七日～三月八日まで。

▼審査基準▶市場性、外観、機能、技術、品質、安全性、価格、量産性等について行います。

▼出品申込先▶秋田市山王四丁目一―秋田県商工労働部観光物産課へ（☎〇一八八―六〇一七〇三）。

日曜日に営業する
ガソリンスタンドは

2月17日……綴子農協GS

2月24日……西部農協GS

国税だより

■にせ税理士にご注意を

税金の申告手続などを税理士に依頼する際には、正規の税理士であるかどうかを確かめてください。

確定申告の時期になりますと、税理士の資格のない「にせ税理士」が申告書などを作成することがあります。

にせ税理士は、法律に違反するだけでなく、納税者に迷惑をかけます。にせ税理士に注意を。

■贈与税の申告をお忘れなく

一年間に贈与を受けた財産の価額を合計して、六十万円を超えるときは、贈与税の申告をしなければなりません。

贈与税の申告と納税は、二月一日から三月十五日までですが、一時に納めることが困難なときは、担保を提供するなどして五年以内の年賦による延納もすることができま。

くわしくは、大館税務署におたずねください。

広報
たかのす

1年分も500円で
製本にみまけん

希望者は2月28日まで
広報係へ
届けてください。

坊沢に中壮年の集い発足

世の中の激しい変化に対応するために、誰でも、どこでも、いつでも学ぶ心をもっていなければいけないといわれる生涯教育の時代です。

このたび、坊沢公民館のよびかけで、中壮年の会（永井修二郎代表）が誕生しました。坊沢地区に住む三十代から五十代までの壮年男子の有志が、毎月一回集まり、いろいろ当面する課題について、話し合い、ときには講師を招いての学習をしよう

というものです。

二月五日（火）午後七時から
の会合ではつぎのことを申し合わせました。（二十人出席）

▽会の名称は自分の間「坊沢中
壮年の会」とし、事務局は坊
沢公民館とすること。

▽会合日は毎月第一火曜午後七
時とすること、農繁期は別に
考える。

▽入会希望の方はいつでも誰で
も加入できる。入会金千円。

話し合いは、なるべく身近な
ことについて、固くならない
ようにすること。

話し合いは、なるべく身近な
ことについて、固くならない
ようにすること。

▽話題については各自三枚の紙
片に希望を書いて出し、集計
する。結果はつぎのとおり。

▽農業について一 二 三 生活
改善九 健康九 土
地改良六 青少年問題四

▽郷土史四 小学校のこと
三 対人関係二 税金一

一 会のあり方一
次回、三月五日は、農業と土
地改良を話題にすることにし、
一ぱいくみかわして解散。

一ぱいくみかわして解散。

公民館からのお知らせ

中国の正月を祝う集い

当農大学校の中国農業技術研
修生を囲んで次により実施し
ます。どなたでも参加できま
すので二月十八日（月）まで、中
央公民館（六六二一―一三〇）
へ申込んでください。

▽二月二十日（旧一月一日）
午後六時から中央公民館
会費一〇〇〇円

▽二月二十日（旧一月一日）
午後六時から中央公民館
会費一〇〇〇円

将棋・カラオケ講座

一月いっぱい終了予定の将
棋、カラオケ講座が受講者の希
望で三月まで延長することにな

りました。

▽将棋 毎週日曜日午前十時

▽カラオケ 毎週月曜日午後七
時から（会費一〇〇〇円）

いづれも、分館が会場です。こ
れからでも参加できます。

町民卓球大会

二月二十四日午前八時三十分
から鷹巣体育館で行います。

参加希望者、団体は二月十五
日まで体育館へ申込んで下さい。

▽種目 一般男女団体、シング
ルス、男女オープン、ベテラン
（35歳以上と、45歳以上）、中
高男女シングルス。

郷土史年表

98

西暦	昭和	和	時	代	事	項
一九七二	昭和四七				○四月二十七日 鷹巣地区交通安全協 会（成田末吉会長）が東北管区警察 局長表彰を受く	
一九七二	昭和四七				○町が生涯教育パイロット指定をうけ る。四六〇五〇年の五ヶ年	
一九七二	昭和四七				○南鷹巣に簡易耐火二階建ての町営住 宅 十二戸完成―五ヶ年計画で百戸 の予定	
一九七二	昭和四七				○六月二日 全国教育研究所連盟の調 査により「落ちこぼれ」勉強ざら い「がふえていることがわかる	
一九七二	昭和四七				○六月二十七日 参議院通常選挙、沢 田政治 当選	
一九七二	昭和四七				○七月十二日 鷹巣・阿仁地域広域圏 発足	
一九七二	昭和四七				○八月二十五日 七日市地区に地域集 団電話（四三〇戸加入）開通す	
一九七二	昭和四七				○十月 国勢調査人口確定 沖繩も含 め、一億〇四四六万五七一一人で世 界第七位	
一九七二	昭和四七				○十二月十九日 北部学校給食センタ ー完成	
一九七二	昭和四七				○東又七戸、西又三戸が集落再編成促 進条例により糠沢に集団移転す	
一九七二	昭和四七				○田中に総合センター完成	
一九七二	昭和四七				○鷹巣町中岱に総合庁舎、警察署、保 健所が建てられた	
一九七二	昭和四七				○一月十八日 札幌オリンピックに向 う聖火が当町内を通過す。（町内七 区間を九一名のリレー隊で、五区間 をトーチ車リレーで）	

K・J法で 青年会のあり方をさぐる

青年大学



鷹巣町連合青年会（亀山明会長の昭和五十九年度第二回の青年大学は、二月二日夜、各單位青年会のリーダー・三十二人参加で開催されました。

この日のテーマは「KJ法で」おらが青年会の問題点と今後のあり方を探る」で、講師の花田和さん（公民館運営審議委員）からその要領についての講話を聞き演習にはいりました。

KJ法というのは、川喜田二郎の「創造性開発のための発想法」の氏名の頭文字KJからきたものです。

この日はまず、全員を三班に分け、テーマについて何でもよいから頭に浮んでくるものを、

紙片に書いて出し、類別し、模造紙に貼りつけました。それをマジックで図式化し、因果関係について話し合い、あるていどの結論を見出ししました。

会員の自主性が大切

一班と二班は「おらが青年会の問題」がテーマで、つぎのよう意見が出てきました。

▽集まりが悪い。集まる人はきまっている。時間を守らない。

▽リーダーシップをとる人が少ない。役員選出期になると人がこなくなる。▽女の会員が少ない。勧誘しないと入らない。▽活動が片よっている。スポーツや遊びに比べて文化活動が少な

い。▽地域における青年会の存在性が薄い。もって地域のために貢献すべき。▽構成人員の年齢差が大きく、気楽に語り合えない。▽酒を飲むことが多すぎる。▽青年だけの会館がほしい。等々、たくさん出てきたが、これについて、いろいろ話し合い、どの問題点についても、自分自身にかかわることなので、青年会活動を通じて、主体的に自分を変えていこうとする自主性が大切であると結論しました。

目で通じ合う 会員がほしい

三班のテーマは「我が輩は會長である」で、発展的な将来展望に立つての意見が多く、

▽地域の青年を全員加入させ、女子会員を増やす。やる気のある会員を他団体からトレードする。

▽コンピューターで会員を把握し、地域単位のみでなく広く、自由に気の合うもの同志の組織をつくる。▽会長には特別手当をつける。秘書もおく。▽青年フェスティバル。共同キャンプ。よりつよいスポーツ活動、奉仕活動をする。▽町の開発のため竜ヶ森に青年の園をつくる。

などが出され、ここでは、このような理想を実現するために「目で通じ合う会員を持つこと」と結論しました。

ふるさと 人物伝 83

成田サタ

一九五—一九三七



今、八十歳になる人方の小学生時代の遠い思い出の中に成田サタ先生がいる。目のぱっちりした背の高い人で白タビに袴をはいた女先生（おんなせんせい）であった。

鷹巣のような大きい学校でも、女先生はせいぜい一人か二人で、当時としては珍しい存在であった。そして、いつも担任するのが一年生か二年生で「ハトポツポ」や、「カリカリワタレ」の唱歌を教えてくれた。学芸会のために何回も練習させられた遊戯のことも懐かしい。そして「鷹巣町の女先生の第一号は成田サタ先生だ」といわれている。

サタは明治二十八年一月生まれで、四歳の時、鷹巣町字西屋敷八六、成田武右エ門の養女として入籍する。

鷹巣小学校に入学、どの学年でも成績優秀で賞を受け、北秋田郡長からも賞与される。明治四十三年、北秋田郡立准教員準備場を修了、代用教員に任命され、鷹巣小学校に勤務する。月俸七円也。

「やさしくて親切な先生でしたが、何回注意しても聞かない時は、きびしい人でした」「二年生のとき、子供をつれ近くの野原にリンドウの花とコケ植物を採りに行き、せきをあげた土につまずいてころび脚をいためました」と当時の教え子は語る。

それに、お産による熱で関節硬直で脚が動かなくなり、教職を辞任する。土木事務所に勤める夫の転勤で、鹿角郡花輪町に移り、不自由な身でありながら、家庭におけるよき母親としてつとめていたが昭和十二年三月死去。四二歳（資料・教え子・河田美子、長谷川真一郎、産婆・浜松ミチエ、三女・長崎京、談）文責・中央公民館長 長崎久



竜森小に一輪自転車を寄贈

児童の体力づくりに役立ててほしいと葛黒・佐藤安雄さん（63歳・写真右から4人目）は、竜森小学校に一輪自転車5台を寄贈しました。同小学校は町の中心地から15キロも離れ、児童数も33人と小規模だが自転車の安全指導に優れており、町のコンクールでは団体の優勝、県大会でも5位に入るなど優秀な成績を残しており、ごほうびに佐藤さんがプレゼントしたものです。



鷹農スキー部全国優勝めざす

インターハイ県予選や県体で大活躍した鷹巣農林高校スキー部が、全国大会出場を前に2月1日役場を訪れ、出川町長から激励を受けました。鷹農は距離が伝統的に強く、工藤博幸選手はこれまでに2冠を制し、他の選手も上位を独占しています。21日から群馬県・片品で行われる国体でも個人、リレーに上位入賞の望みがかけられております。



鷹巣ライオンズクラブでは1月28日役場を訪れ、寝たきり老人の看病にたずさわっている家族に差しあげ

てほしいと、社会福祉協議会にバスタオル17枚を贈呈しました。町内には多くの寝たきり老人がおり、家族の方がたが献身的に世話をしてくれていますが、寒に入り寒さが厳しくなったことから、日頃の苦勞に感謝をして送ることになったものです。

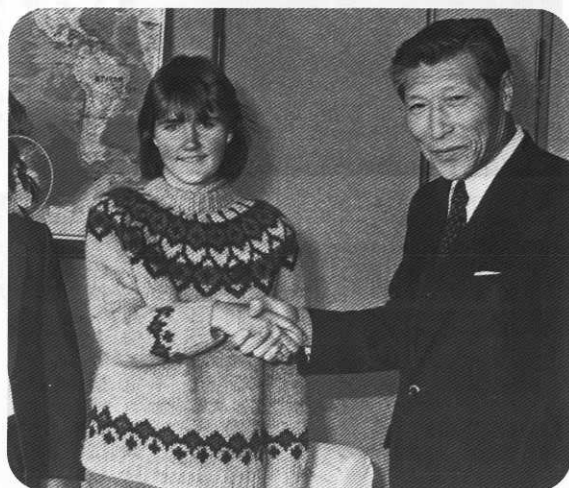
寝たきり家族にもプレゼント



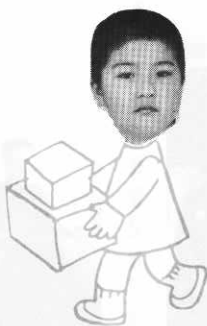
鷹巣ロータリークラブの交換留学生として、オーストラリアからジル・ウオーさん（17）が1月19日に来

町しました。20日に川町長を表敬訪問。「真夏のオーストラリアから来たので、寒くて雪の多いのはびっくり」と鷹巣の第一印象を語っていました。ジルさんは鷹巣高校の一年に編入し、一年間日本の風俗や生活習慣などを体験することになります。

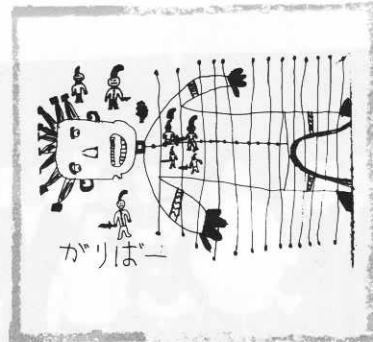
オーストラリアからジルさんが



の広場



中央保育園
むらかたわたるくん (6歳)



棟 沢 石川 太永治 (66)

各組織が活発に活動

今回のテーマ 『集落の自治について』

対談 親の意見・子供の意見



ヤ ツ デ

(ウコギ科)

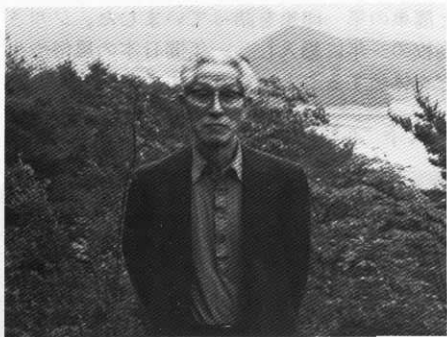
名前の由来は葉の切れこみの八手による。テングのハウチワとも言い、屋敷内に植えると病魔、悪魔よけになるとも言われている。乾燥葉を風呂に入れるとリュウマチにきくと云う。

(南小学校 畠山 益穂先生)

糠沢集落は、約五百年程前に開村したと言われる古い集落で純農村地帯であった。この地区も今ではそのほとんどが、兼業農家や非農家という現状です。最近には特に混住化の拡大、兼業依存度の高まりなど、地域集

団生活を営んでいる集落の自治は、村づくりと人づくりが大切だと思います。幸い当集落には子供からお年寄りまで、各年代ごとの組織があり、自発的に役割分担し活発に活動しております。

- ▽子供会 相撲、盆踊り大会、花いっぱい運動の展開
- ▽寿会 神社、会館、駅、墓地の清掃
- ▽青年会 祭典の舞台、盆踊り、道路、河川のクリーンアップ
- ▽婦人会、若妻会、生改グループ
- ▽集落内の環境整備、衛生管理など
- ▽農事実行組合 農業



私は大正十三年五月に上京したので、ふるさとの思い出は六十余年前のことになる。綴子の生れで綴子尋常高等小学校卒業、農作業を手伝い時に土方や桶屋を修業し、由利郡と仙北郡へ桶屋仕事で出稼ぎにも数回行きました。また山野が好きで綴子沢の立石、滝の沢カヤマ等へ山菜採りに出かけたものです。今でも、どここの沢のどのあたりに何があつたか頭に浮んできます。昼食の時のそばで川石を利用「ミズたたき」を食べた時

ふるさとゆみなさんへ いまでも「ミズたたき」のおいしさが

神奈川県藤沢市 武内市郎 (七十七)

のおいしさは忘れられない。又冬に滝の沢の奥山からソリで急斜面を背中を押さへながら、払い下げのタキ木を運搬したのも忘れ得ぬ思い出です。昨夏、自動車で綴子沢から糠沢の沢にかけて、案内してもらったが、やはり山野は昔のままでなつかしいものでしたが、道路の立派な事と、民家の都会化されているのには驚きました。

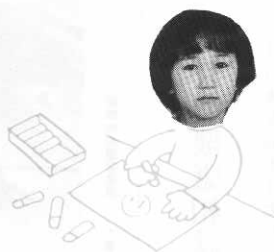
東京では電機学校夜学部で三年間電気学を勉強し、電気事業主任技術者資格検定試験に合格し、通信省電気試験所で十三年、東洋通信機で二十四年日興通信で十五年働きました。その間、電話、搬送通信、無線器機、人工水晶、電子計算機情報処理機器等の研究製作に従事し、気がついたら七十歳を過ぎていました。

鷹巣町の皆さん、どうぞ健康で明るい町づくりに御活躍下さる様お祈りしております。

▽武内さんは、綴子下町武内留吉さんの義兄です。



中央保育園
ふじしまじゅんこちゃん(6歳)



みんな

風邪の民間療法
万病の元
ですから「風邪くらい……」なんて油断は大敵です。
薬や注射に頼りっきりの西洋医学から離れて台所にある材料を使った療法を紹介しましょう。
▽梅干しの黒焼きとおろしシヨウガ||梅干し二個を黒く焼き、これにシヨウガのおろしたのと



私の住んでいる相善町は、坊沢地区の中で、一番戸数の多い



相善 成田 政則 (38)

相互扶助の精神で

関係一般という具合に地域発展のため貢献しております。
また、集落の大きな行事として春は運動会、秋は文化祭を実施しています。これらの行事は、農家、非農家の別なく、集落総ぐるみの参加で、村づくりに大きく役立っております。
これからも集落内の「和」をモットーに、活力ある住みよい村づくりを目指して努力してまいりたいと思っております。

しょうゆ少々を茶わんに入れ、熱湯を注ぐ。▽オギみそ||ネギを細かく刻んでわんに入れ、みそとカツオぶし適量を加え、熱湯を注ぐ。▽玄米とミカンの皮の煎茶||玄米一合とミカンの皮一個分を合わせて、四合の水で、熱して煎じた汁を適量に飲む。
各種の民間療法は副作用の心配もなく、安心してとり入れられますが、自分でいろいろ試してみ、適合する方法を選んで飲みましょう。

集落であるが故に、物事的意思統一が、容易に出来ないのが、現状でないだろうか。行事の度に人集めに奔走している、役員の方々の姿を拝見するにつれ、頭の下がる思いがする。「遠くの親戚よりも、近くの他人」の諺ではないが、隣近所の有り難さが、何によりであるが、普段あんまり感じないで暮しているのが現実である。
今回、廻り当番で、隣組長になった機会に、住みよい集落とは、如何にあるべきかを自分なりに模索中である。大切なのは相互扶助の精神ではないだろうか。ただ旺盛な干渉はお互いに厳禁である。まず、身近かな声かけ合いこそが、住みよい集落づくりの根源ではなからうか、それにしても、集落の自治運営ほど難しい問題はないと思う。

車社会となった昭和40年代は、交通事故も車に比例して多くなった。このため民間人による交通指導隊が41年4月に発足しました。写真は同年9月に、旧警察署前の三日田吉治さん宅前で、安全協会役員と一しょに写したものです。現在は隊員も20人となり女性も委嘱されています。



たかのすの昔

おしらせ



一線美術会賞賞賞員 九島素二氏

二月の健康相談

二月の健康相談は次のとおりです。

成人健康相談は、二十七日です。

時間は午前九時から午後三時まで、血圧測定のほか、必要に応じて尿検査も行います。

◇ ◇

妊婦健康相談は、十八日です。

時間は、午前九時から午後三時まで、妊婦検診、検尿、体重測定など行います。

毎週月曜日には母子手帳を交付します。

※場所は、いずれも中央公民館

保健相談室です。

◇ ◇

離乳食実習指導は、二十一日
五十九年七月生まれとなっています。

受付時間は午前九時半から十時まで。

◇ ◇

乳児健康診査は、二十一日
五十九年十月生まれとなっています。

受付時間は、午後一時から一時半まで、おいでの時は母子手帳とバスタオルを忘れずにお持ちください。

※場所は、いずれも鷹巣保健所で行ないます。

ゲートボール

選手権大会

第一回春季秋田県ゲートボール選手権大会が、雄和町で開催されます。

開催要領は次のとおりです。

▽後援 秋田県ゲートボール協会・雄和町老人クラブ連合会

▽期日 予選リーグ・四月二十二日から六月下旬（各予選リーグは二日間となります）

準決勝リーグ、決勝トーナメントは七月十日、十一日です。

▽会場 県立中央公園スポーツゾーン陸上競技場（雄和町）

▽参加資格 六十歳以上（男女混合も可）で組織された県内の

チームであればよい。

▽参加料 一チーム五千円

▽申込み 三月二十日まで、河

辺郡雄和町石田字上大部一四〇

一、雄和町役場企画課内・大会事務局 〇一八八八六二二一内線三十一番

町民綱引大会

第一回町民綱引大会を三月三日（日）鷹巣体育館で開催します。

一般社会人で町に住んでいる方、または町に職を有しておる方などなたでも参加できます。

選手は八人ですが、合計体重が五百六十キログラム以下となっております。

参加希望のチームは二月二十三日まで、鷹巣体育館へ申し込みください。

※競技規則の説明会は二月十九日午後七時より、体育館で行ないます。

停電のお知らせ

二月の作業停電 18日 脇

神、上野、小森、七日市、中屋敷、横瀬、根本屋敷、四渡（午前九時から午後一時）

住宅金融公庫

住宅金融公庫では、低利、長期の資金を融資して、みなさん

のマイホーム作りのお手伝いをしています。

融資制度の内容や申込方法など、くわしいことについては金融機関（銀行）へお問い合わせください。（受付日順・無抽せんです）

善意

▽花園町 医師・戸嶋幸男さんから講師謝礼として一万円

▽花園町 千葉キヨさんから拾得金の報労金として五千八百五十五円

社会福祉のために、町社会福祉協議会へ寄付金がありました。

ご芳志に深く感謝いたします。

ご芳志に深く感謝いたします。

香典返し

このほど次のかたから、香典返しにと町社会福祉協議会へ寄付金がありました。

ご芳志に深く感謝いたします。

▽あけぼの町 長連次郎さんから亡長男秀文さんの香典返し

▽掛泥 工藤久雄さんから亡妻フミさんの香典返し

▽岩脇 久留島清吉さんから亡妻ヒデさんの香典返し

▽坊沢上町 津谷久雄さんから亡母トヨさんの香典返し

▽脇神 花田末治さんから亡母キヨさんの香典返し

慶弔だより

1月16日～1月31日

■誕生おめでとうございます

成田 亜未（実） 長女 今泉

佐藤 江里（英博） 長女 花園町

佐藤 敬太（整） 長男 小田

武田 和徳（紀義） 長男 下町

相馬 彩乃（順悦） 長女 高村岱

熊谷 寿子（勇一） 二女 前山

米森 優香（康保） 長女 新田中

堀内 麻美（浩行） 長女 綴子上町

■二人の前途を祝福いたします

（山形 雅晴 旭町

菊池 美喜子 宮前町

おくやみ申しあげます

近藤 トヨ（96歳） 中屋敷

松尾由一郎（49歳） 摩当

津谷 トヨ（66歳） 坊沢上町

久留嶋 ヒデ（57歳） 岩脇

花田 キヨ（82歳） 脇神

工藤 フミ（68歳） 掛泥

岩谷 卯吉（82歳） あけぼの

佐藤 雄五郎（79歳） 深沢

碓谷 アサ（77歳） 宮前町

中嶋長左エ門（60歳） 小ヶ田

安保徳二郎（48歳） 伊勢町

花田 ソ子（93歳） 旭町

佐藤 三蔵（88歳） 前野団地

岩谷 武義（58歳） 下町